

市政を問う

一般質問

6月定例会における一般質問は、6月18日、19日、20日に行われ、14人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページで閲覧いただけます。または半田図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできる二次元バーコードを掲載しています。



公明党 山田清一

取組 防犯カメラ設置の

問 平成29年度より自治区への防犯カメラ設置補助制度が導入され、補助金の上限は一自治区50万円、補助率は設置費の三分の二となつていますが、補助制度の市民への周知が必要であると考えますがいかがですか。

答 より安全安心なまちづくりの推進につなげるためにも、市報・ホームページで周知を図り市民の皆さんにも制度の存在を知っていただき、地域の要望がきちんと反映された防犯カメラの設置が進むよう努めます。

問 小中学校など公共施設への防犯カメラ設置について、設置方針及び設置計画や更新計画はどのように考えていますか。

答 公共施設のなかでも、たとえば公園のように管理者が常駐せずに子どもが集まる施設に関しては、犯罪を抑止し防犯力を高める意味で、特に防犯カメラの設置を進めていきます。該当施設に

ついては、計画的な設置・更新が図られるよう防犯カメラの設置基準を整理し方針としてまとめ、適切に対応します。

犬のフン害対策のイエローチョーク作戦

問 アスファルトなどに放置されたフンを黄色いチョークで囲い、日時を書き、フン回収を促す「イエローチョーク作戦」、芝や植込み箇所などに放置されたフンには「イエローカード作戦」が有効であるが、どのように推進していきますか。

答 「イエローチョーク作戦」と「イエローカード作戦」の意義を広く呼びかけ、取り組んでいただける個人や団体を募り、必要な物品などを提供のうえ全市的に活動を広げていきます。

イエローチョーク作戦

- ①「黄色いチョーク」で放置されているフンの周囲に丸をつける
- ②「発見日時」を書く
- ③フンは片付けずに、一週間程度様子を見る
- ④再度フンの放置があった場合は同じことを繰り返すことで減少していく





維新・半田市民の会 中川健一

半田市議会議員選挙の投票率低下が止まらない

問 東京都国立市選挙管理委員会の議事録はホームページに公開されています。ところが半田市選挙管理委員会の議事録は非公開となつています。見解をお聞かせください。

答 今後開催する選挙管理委員会と合議のうえ、ホームページで公表します。

問 指定施設内における不在者投票については、どの施設が該当するのか、選挙管理委員会のホームページにも、どこにも書かれていません。記載すべきと考えますが、見解をお尋ねします。

答 今後はホームページへ掲載します。

問 選挙管理委員長の年俸は303,600円、委員は266,400円です。平成30年度は何回、合計何分の議論を行いましたか。

答 10回、延べ7時間40分でした。

問 平成31年市議会議員選挙の投票率は、一番低かった23歳は22・46%、一番高かった78歳は62・49%、平均は42・95%でした。投票率低下の原因をどう分析していますか。

答 有権者の政治離れ、選挙離れが要因であると認識しています。

問 これまでアンケート調査など投票率低下に関する客観的な分析をしたことがありますか。

答 ありません。

問 他市のアンケート調査による分析では、若年層の投票率向上には商業施設での期日前投票所設置が有効とありました。半田市もイオンやパローに期日前投票所を設置すべきと考えますがいかがですか。

答 平成29年の市長選挙からクラシティにも期日前投票所を設置しています。現時点では費用対効果をふまえ、増設しないと判断しています。

問 視覚障がい者に対する平等性を確保するための点字や音声コードによる選挙公報の配布はありますか。

答 実施可能か、今後調査します。

